

「台風から学んだこと」

豊田市立三江小学校五年 黒坂 太一

去年の10月20日、この豊田市に大型の台風23号がきました。台風によってぼく達の地区も水についてたくさんのは害が出ました。そして、ぼくの家もは害にありました。

それは、土砂災害です。うら山がくずれたせいで家の周囲はどろだらけで、そうこの物はほとんどがあらわれないといけませんでした。

けれど、ぼくはその台風から学んだことがいくつもあります。

その中の一つが、物の大切さです。台風で自転車が使えなくなりました。ひなんしているときはあまり遊べなかったけど、今ではカードやゲームがふつうに使えるのが嬉しいです。

そして二つ目は、ご飯が食べれることです。学校にひなんしているときは、おにぎりを寄付してもらって食べました。ひなんしていた人がとてもたくさんいてそのなかでかざられた

数のおにぎりだったけど、その時は食べられて  
とても嬉しかったです。だから、今は給食で  
もなるべく残もたりせず最後まで食べるよう  
にしています。

三つ目は、家族のありがたさです。台風の  
過ぎた後、ぼくの家は1年ほど住めなくてア  
パート暮らしをしていました。その時は毎日  
お父さんやお母さんが送りむかえしてくれま  
した。二人ともとてもつかれていたのに、ぼ  
くのためにかんばってくれて、とても感謝し  
ています。

台風でなくしたものもあつたけど、学んだ  
こともたくさんありました。そのことを、今  
後の生活に生かしていきたいです。